



一般社団法人 ID 柔道 Network 2025 年度 活動報告書



1 ご挨拶

2025 年度も、多くの皆様のご支援により、ID 柔道 Network の活動を継続することができました。心より感謝申し上げます。

本年度は、「安全に、誰もが学び成長できる柔道」を理念に、合同練習会、国際交流、教育機関との連携などを実施しました。

柔道を通して、人と人がつながり、ともに学び成長できる場づくりを進めることができました。

今後も、柔道本来の教育的価値を大切にしながら、共生社会の実現に向けて活動を継続してまいります。

引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 団体理念

理念

「柔道本来の基本を大切に、安全に、誰もが学び成長できる柔道をとおして、ともに育ち、社会に貢献する。」

ビジョン

「柔道をとおして人が育ち、つながり（和）が世界に広がる社会をつくる」

ID 柔道は、知的障がい者柔道を基盤とし、柔道原理に基づく安全な指導体系を通して、誰もが学び成長できる柔道を目指しています。

競技性だけでなく、教育性・安全性・共生を重視し、「教育としての柔道」の実践に取り組んでいます。

3 2025 年度 主な活動

(1) 合同練習会（年間 22 回 延べ 500 人が参加）



日本文化大学において、月 2 回の合同練習会を継続実施しました。
障がいの有無を超えて、多様な参加者がともに学び合う場を形成しました。

(2) ID 柔道 Study Camp（3 日間連日 200 人規模で実施）





日本文化大学において、2泊3日の日程で「ID 柔道 Study Camp」を開催し、ヨーロッパ・オセアニア・東南アジアを含む9カ国から参加者を迎えました。

知的障がい者柔道を基盤とした、柔道原理に基づく安全な指導法や、「教育としての柔道」の価値を共有しました。

また、自然体・柔の理・崩しを基盤とした「ファンデーション柔道」の考え方を国内外へ発信しました。

(3) 国際交流（東南アジア各国から30名の指導者が参加）



インドネシア・ジャカルタにおいて、ID 柔道 Network とインドネシア柔道連盟の共催による ID 柔道セミナーを開催し、6カ国から指導者が参加しました。

また、オーストラリアをはじめとする海外関係者との定期的なオンライン交流を通じて、日本発の ID 柔道の理念や実践について情報共有を行いました。

(4) 教育・ボランティア活動





大学生、社会人、保護者ボランティアに加え、日本財団ボランティアセンターから派遣された通訳ボランティアが、ID 柔道 Study Camp 等の活動に参加し、支援・交流を行いました。

また、日本武道学会・日本ダウン症学会での発表、全日本柔道少年団（東京都・福井県）における講習会、特別支援学校での柔道体験会等を実施しました。

さらに、全日本柔道連盟をはじめとする柔道関係団体との連携を通じて、ID 柔道の普及と教育的価値の共有に取り組みました。

また、講道館における ID 柔道昇段審査の実現に向けた取り組みを進めました。

4 主な成果

- ・ 合同練習会の継続実施
- ・ 国際的な交流ネットワークの拡大
- ・ 学生ボランティア育成
- ・ 安全な柔道指導法の実践
- ・ 「教育としての柔道」の普及

5 今後に向けて

2026 年度は、

- ・ 指導体系の整理
- ・ 教本作成
- ・ 国際交流の拡大
- ・ 学校教育との連携に向けた取り組み
- ・ 第 1 回 JUDOWN 世界柔道大会への選手派遣（8 月）
- ・ ID 柔道 Study Camp2027 の開催

これらの取り組みを通じて、「誰もが学べる柔道」の社会定着を目指します。

また、アジア・オセアニア地域における ID 柔道の交流と発展を目的として、「アジア・オセアニア ID 柔道オープン大会」の実施に向けた取り組みを進めてまいります。

6 御礼

本活動は、多くの皆様のご支援・ご協力によって支えられています。

心より感謝申し上げます。

今後も、柔道を通して、人が育ち、国を越えてつながる（和）を広げていきます。

引き続き、一般社団法人 ID 柔道 Network への力強いご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 ID 柔道 Network

代表理事 濱名智男